

# 校長室だより



祝 第60号

令和3年9月13日  
校長 齋藤 瑞穂

## 残念！緊急事態宣言延長

～ 9月30日まで

新型コロナウイルスデルタ株が猛威をふるっています。東京では、ようやく感染者数の増加がおさえられてきたようにも見えますが、重症の人数は病院が対応できるベッドの数ギリギリの状態が続いています。これ以上感染を上げず、感染した人も安心して十分な治療が受けられるようにするために、緊急事態宣言がさらに9月末まで延長されることになりました。

みなさんにはもうしばらく、きゅうくつな生活が続きます。地域の方々とPTAが、みなさんのために毎年行ってきた「杉七盆踊り」も、昨年度に続き今年も中止しなければならなくなりました。今年こそ、と私も楽しみにしていたので、とても残念です。「いつになったらマスクなしで生活できるようになるのだろう」「みんなと思いきり歌いたい」「おしゃべりしながら楽しく食べる給食の時間はもうもどって来ないのかな」…長引くコロナウイルスとの闘いに疲れ、気持ちがしずみがちになっている人も多いことでしょう。

東京都では、そんなみなさんに少しでも元気になってもらい、コロナウイルスとの闘い後の未来への夢や希望をふくらませてほしいと、「子供輝く@TOKYO」と題した取り組みを行うことになりました。その一つとして、杉七小では、「子供川柳『見つめよう、今と未来のわたしたち』」を実施します。



川柳とは、俳句と同じように五・七・五の十七音で作る短い詩のことで、俳句とのちがいは季節を表す言葉(=季語)にこだわらず、自由に自分の気持ちや思いを表現できることです。

テーマはズバリ、「今」と「未来」。次のようなことを十七音にのせて詩にしてみてください。

### 見つめよう、今と未来のわたしたち

～ 川柳を募集します！ ～



「今」——

- コロナ禍で困っていること・不安なこと
- コロナ禍で気付いたこと
- コロナ禍でもがんばっていること・できるようになったこと など

「未来」——

- コロナ禍が収束したらやりたいこと・チャレンジしたいこと
- コロナ禍後の世界がこうだったらいいなと思うこと
- コロナとの闘いに勝った自分の姿 など

応募作品は校長室前に掲示したり、校長室だよりにのせたりします。一部は東京都教育委員会のホームページでも紹介されます。

10月1日まで募集します。いつもの投句箱へ、ぜひ応募してください。

#### 保護者の皆様

東京都の取組「子供輝く@TOKYO」は、コロナ禍で何かと行動を制限されたり我慢を強いられたりしている子供たちの悩みや苦しさに寄り添い、ポストコロナの未来に夢や希望をもたせ元気づけようという試みです。杉七小でも、2学期は行事等を工夫し、子供たちが活躍できる機会をなるべく多く設けて、充実感や満足感を味わわせたいと考えています。ぜひ温かい励ましの言葉かけをお願いいたします。